

令和5年度 四観第15号
具定展望台整備事業基本計画業務

成果報告書
(整備計画編)

令和6年3月

四国中央市 経済部 観光交通課

目 次

1. 現状把握	1
1.1. 具定展望台の概要	1
1.2. 変遷	3
2. 敷地分析	5
2.1. 既存展望台の利用方法	5
2.2. バリアフリーの採用	7
2.3. 写真撮影場所の確保	8
2.4. 展望台からの視点確保	9
2.5. 夜間照明	9
2.6. その他	10
2.7. 類似事例からの考察	11
3. アンケートによる分析（利用者層、利用者圏域等の設定による需要予測）	12
3.1. アンケート調査結果	12
3.2. アンケート結果を踏まえた整備内容の検討	19
4. 計画内容の検討及び設定	20
4.1. 計画方針の設定	20
4.1.1. 公園の目的・意義	20
4.1.2. 公園の性格	20
4.1.3. 公園の担うべき機能	20
4.2. ゾーニング	23
4.3. 施設配置計画検討	27
5. 整備基本計画図	29
5.1. 整備計画（案1）	29
5.2. 整備計画（案2）	30
5.3. 整備計画（案3）	31
6. 概算工事費の算出	32
7. 基本計画説明書	35
7.1. 整備計画	35
7.2. 工事内容	35
7.3. 整備計画案	35

1.現状把握

1.1.具定展望台の概要

四国中央市街地から同市嶺南地区に向かう国道 319 号沿いの法皇山脈の中腹、標高 349m の地点（愛媛県四国中央市寒川町）にある展望台である。2008 年 3 月、法皇バイパスの全線開通により、四国中央市街から具定展望台までは完全 2 車線となった。

展望台より見下ろす東西広範囲に四国中央市の市街地が広がっており、北方向から眼下には具定町から国道 11 号、寒川港、伊予三島中央青果市場周辺の市街光、西方向は寒川町から豊岡町までの光が続く。また、東方向は三島中央市街から大王製紙、愛媛製紙、丸住製紙などの製紙系の工場群が広がる。敷地内には簡易トイレ、ベンチがあり、道路沿いに自動車の駐車場（約 15 台程度）がある。



図 位置図 (地理院地図を加工して利用)

また、具定展望台や駐車場は、ハザードマップの危険区域に該当しないが、展望台へのアクセスにあたり、土砂災害（特別）警戒区域（土石流）に含まれる国道 319 号を経由する必要がある。

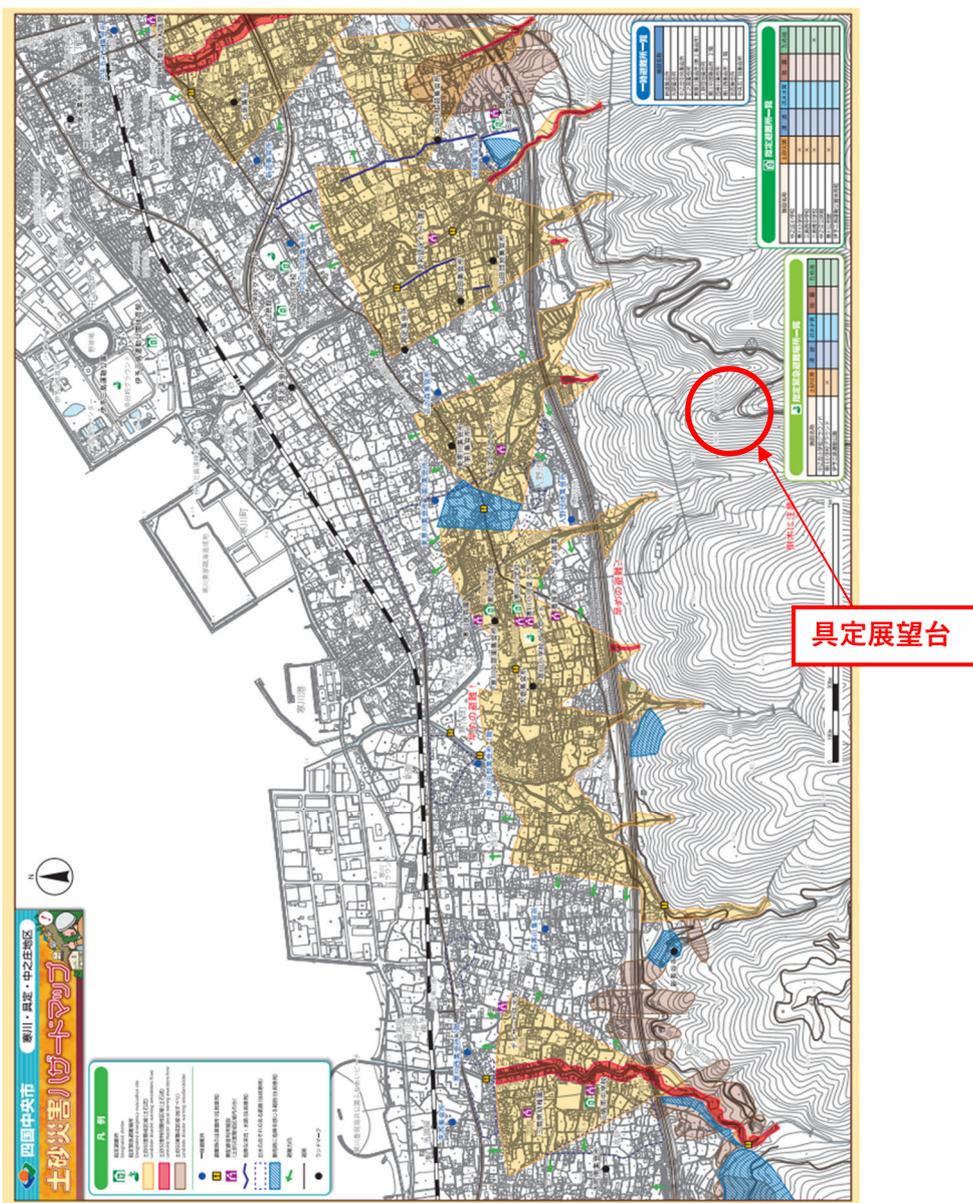


図 位置図 (市土砂災害ハザードマップを加工して利用)

1.2.変遷

具定展望台の変遷は、以下のとおりである。

1962年 昭和37年	具定展望台完成
2004年 8月1日	<p>日本の夜景100選に認定 (新日本三大夜景・夜景100選事務局)</p>  <p>具定展望台からの夜景は瀬戸内海沿に沿って湾曲を描き、視界の遮りがなく視野180度のパノラマの眺望です。特に伊予三島地域の工場群は力強さを演出しています。また、背後には800m級の山がそびえ立ち、周辺は暗闇となります。そのため見上げれば満点の星空を眺められます。</p> <p>> 具定展望台の夜景をもっとみる</p> <p>登録日 2004.8</p> <p>写真：新日本三大夜景・夜景100選オフィシャルサイトより転載</p>
2010年 8月1日	<p>日本夜景遺産（自然夜景遺産）に認定（日本夜景遺産事務局）</p>  <p>愛媛県四国中央市寒川町に位置。市内からは、翠波高原や金砂湖、富郷方面へ向かう国道319号を上り、その中腹の標高349メートルにある。2008年3月、法皇バイパスの全線開通により、四国中央市街から具定展望台までは完全2車線となった。</p> <p>写真記事：日本夜景遺産オフィシャルサイトより転載</p>
2012年 7月1日	<p>恋人の聖地に認定（NPO法人・地域活性化支援センター）</p>  <p>具定展望台</p> <p>恋人の聖地</p> <p>写真：恋人の聖地 PROJECT オフィシャルサイトより転載</p>
2014年 11月	具定展望台リニューアル（バリアフリー化完了）

平成24年度 四国中央市のマスコット決定



市のキャラクター決定



具定展望台リニューアル

障害児者基幹相談支援センター設置、住宅リフォーム補助制度開始、市民会館三島会館閉館

平成24年度 具定展望台リニューアル

<https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/uploaded/attachment/3984.pdf>

現在



写真 出典：四国中央市都市計画マスタープラン平成24年9月策定より

2.敷地分析

当事業は山上における展望施設で、アクセス、立地、地形、周辺環境、といった様々な点において、一般的な市街地の公園や広場と条件が異なり、特殊な条件が非常に多くなっている。そのため、バリアフリーや、写真撮影場所の確保、展望台からの視点確保、夜間照明といった対応については、他の類似事例調査を行い、どのような状況になっているか、またどのような対応がされているかを把握したうえで、具定展望台の特徴や課題点等を把握する。

ここでは、類似事例の調査対象として、具定展望台と同様に、夜景 100 選、恋人の聖地 100 に選出されており、同じ瀬戸内地域としてまちづくりとしても積極的な取組をしている、2022 年 3 月にリニューアルし広島県尾道市の千光寺展望台と神戸市中央区諏訪山公園展望台（ビーナスブリッジ）を対象とした。

2.1.既存展望台の利用方法

具定展望台は「日本夜景遺産」（2010 年）、「日本夜景 100 選」（2004 年）に認定された夜景スポットとして知られている。また、「恋人の聖地」（2012 年）に認定され、カップルでのデートスポットとしても注目が高まっている。

また、2014 年夏より整理工事のために立ち入り禁止となっていたが、2014 年 11 月 27 日にリニューアルされた。駐車場から展望台まで、幅広い階段と緩やかなスロープが設置されたことにより、足に自信のない方やベビーカー、車イスの方もこれまでより楽に展望台までアクセス可能となった。

国道 319 号線沿い（全線 2 車線化）とアクセスも良く、駐車場（第一、第二駐車場含む）や簡易トイレも併設されているため、ドライブの休憩に立ち寄るのも好適である。

第一駐車場写真	第二駐車場写真	簡易トイレ写真
		
幅広階段	スロープ (バリアフリー)	展望台 (ベンチ等)
		
展望台	展望台	遠方から展望台を望む
		
展望台 (損傷状況)	展望台 (損傷状況)	展望台からの眺望
		
展望台下の広場・ベンチ 1	展望台～広場へのアクセス	展望台～広場へのアクセス
		

写真 具定展望台の現地状況確認 (2023年6月21日撮影)

2.2.バリアフリーの採用

類似事例の調査結果

千光寺（尾道市）	ビーナスブリッジ（神戸市）
<ul style="list-style-type: none"> 登山道はバリアフリー対応しておらず、ロープウェイ及び山頂展望台（PEAK）がバリアフリー対応。 ロープウェイはエレベーター及びプラットフォームには車いす用リフトを整備。 その他の園内通路は、バリアフリー未対応のところが多く、山頂アクセスのためのロープウェイと展望施設を絞って、バリアフリーを対応している状況。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場※から展望台へは階段のみ。（現在レストハウスエリアのリニューアル工事中のため、エレベーターなどができる可能性あり。） バリアフリー対応はしていない。園内通路は、スロープが多い。 ※駐車場はかたまって3か所あり、現在1か所が工事中（レストラン建物リニューアル工事の影響）。 2か所で約15～20台ほど。
	

2.3.写真撮影場所の確保

類似事例の調査結果

千光寺（尾道市）	ビーナスブリッジ（神戸市）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地形と周辺の形式を活かした展望施設となっており、南に面した尾道水道や向島、天寧寺三重塔を望む景観が写真撮影のスポットとなっている。 ・ 尾道水道を挟んで、手前側の尾道と奥川の向島の夜景や尾道大橋のライトアップが撮影のポイントとなっている。 ・ 山頂展望台は、直線的でメインの撮影スポットとなる箇所と一般通路部分と同じ幅となっているため、来場者の滞留に課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山から海を見下ろせる都会に近い立地や地形、周辺の景観を活かした展望施設となっており、南に面した神戸港や三宮を中心とした神戸らしい景観が写真撮影向きのスポットとなっている。 ・ 展望台は、海に対して東西に広めに確保されていて撮影スポットとなっており、さらに南へ突き出した通路があるため、来場者の滞留はあまり見られなかった。 ・ 屋根のないベンチも数か所あり、訪れた人たちが利用していた。
	

2.4.展望台からの視点確保

類似事例の調査結果

千光寺（尾道市）	ビーナスブリッジ（神戸市）
<ul style="list-style-type: none"> 山頂は障害物が少なく、ほぼ 360° の視界が確保されている状況。 展望台の柱を細くし、山頂グラウンドレベルにおいても開放感が感じられる。 山頂付近の植栽は、ほとんど伐採することなく、極力自然の状態を残したうえで、景観が眺望できる展望台の高さに設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 海に面して山から見下ろすようになっていて、一部の樹々を除いて障害物が少なく、視界はほぼ確保されている。 老朽化した案内サインの情報更新やトイレの美装化、園内を気持ちよく過ごせるための休憩施設の塗装など、数年前に施設の改修工事を行っているが、植栽や舗装の雑草などが茂っていて、手入れは不足している印象を受けた。
	

2.5.夜間照明

類似事例の調査結果

千光寺（尾道市）	ビーナスブリッジ（神戸市）
<ul style="list-style-type: none"> 山頂までのアクセス道及び、山頂付近は一般的な街灯程度となっている。 展望台付近は、グラウンドレベルからのアップライトによる照明で、展望台を照らすことで、間接的な照明とし、夜景スポットとしてのまぶしさに配慮した上で、象徴的な展望施設の演出にも配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 都心部、住宅地からすぐに山道に入り、道路はあまり維持管理されていない印象。夜間は飛ばし屋が多いようで、走行規制（20：00～8：00）がある。駐車場までのアクセス道及び展望台付近は一般的な街灯程度となっている。 横から見ると「T型（T-T）」の構造物があり、ライトアップ（展望台を照らす間接的な照明）されている。夜景スポットとしてのまぶしさにも配慮されている。

東日本大震災における教訓を踏まえ、非常時の適切な避難誘導や節電に対応できる照明計画をあらかじめ検討していくことも重要である。

2.6.その他

類似事例の調査結果

千光寺（尾道市）	ビーナスブリッジ（神戸市）
<ul style="list-style-type: none">・ ロープウェイ山頂駅に小さなハート形の南京錠の展示あり。・ 奥のエリアに「恋人の聖地碑」があり、南京錠がついている。定期的に取り外す旨の表示あり。・ 山頂駐車場は、日中は 600 円/日とし有料としているが、夜間（管理人不在時）については、無料開放としている、（約 70 台）・ 但し、花見シーズン及び夏季花火時においては、混雑となるため入場制限を実施している。	<ul style="list-style-type: none">・ 展望台エリアの奥に、南京錠をつけるための大きな金属製のモニュメントがある。・ （一時期、手すりに大量の南京錠が取り付けられ、地元では社会問題になった経緯がある。）・ 定期的に取り外しているのか、閑散とした印象を受けた。
	

2.7.類似事例からの考察

芸術性の高い展望施設で、尾道、千光寺山のシンボルとなっている。一方で、市街地（山麓）からは施設がほとんど見えないように計画されており、歴史や自然環境が特徴的な千光寺山の景観に配慮した計画となっている。

尾道の特徴的な景観である東西に広がる尾道水道に平行に直線的な展望台と、山頂の景観を360°見渡せる回遊性の高い円形階段により構成されており、千光寺山の魅力が存分に体験できる施設計画となっている。

夜景のポイントとなる南面は、細い部材による手摺とし、開放的で眺望を阻害しないよう配慮されている。一方で北側面はコンクリート立上り壁による手摺とし、面的な手摺とすることで、高所における不安軽減に配慮している。

先進地例より、具定展望台にける着眼点を以下に示す。

- ・ 芸術性の高い施設計画による魅力的な展望台の計画
- ・ バリアフリーに配慮した展望施設
- ・ 撮影、展望に配慮した滞留スペース
- ・ 回遊性のある展望施設
- ・ 眩しさに配慮した照明計画（かつ、展望台の演出を兼ねる）
- ・ 駐車場からの明確な動線計画

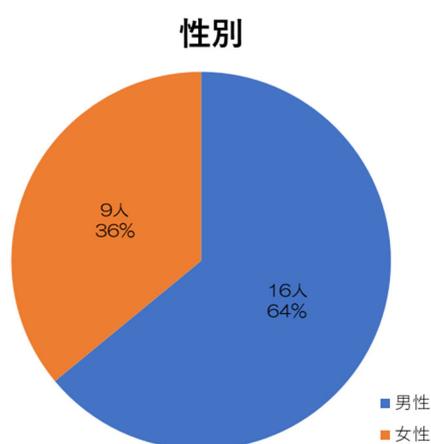
3.アンケートによる分析（利用者層、利用者圏域等の設定による需要予測）

具定展望台について、利用者が感じている印象や今後求める機能に関する考えを把握し、基本計画に反映することを目的に、アンケートを実施した。

3.1.アンケート調査結果

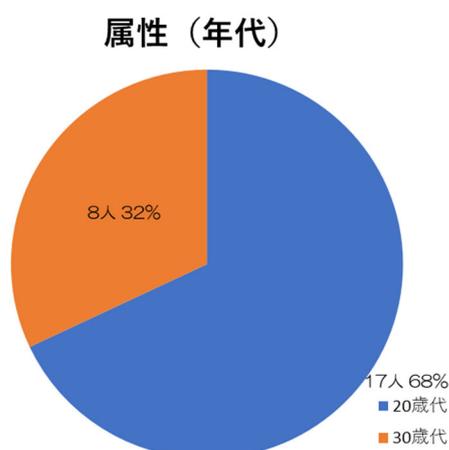
問1-①. あなたの性別を教えてください。

	男性	女性	その他	合計
人数	16人	9人	0人	25人
割合	64.0%	36.0%	0.0%	100.0%



問1-②. あなたの年齢を教えてください。

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
人数	0人	17人	8人	0人	0人	0人	0人	25人
割合	0.0%	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

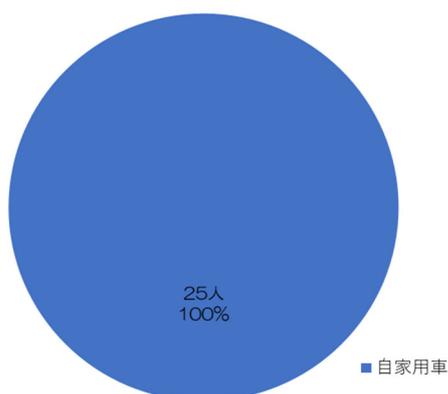




問2. どのような交通手段で来られましたか。※○は複数選択可能

Q2	自家用車	バス	タクシー	鉄道	原付・バイク	転車	徒歩	その他	計
人数	25人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	25人
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

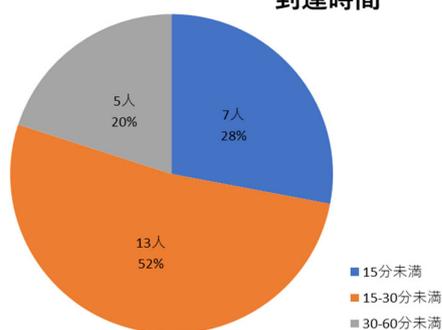
交通手段



問3. 展望台（公園）までの到達時間を教えてください。※○はいずれか1つだけ

Q3	15分未満	15-30分未満	30-60分未満	1時間~2時間	その他	計
人数	7人	13人	5人	0人	0人	25人
割合	28.0%	52.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%

到達時間



問4. 展望台（公園）に来場（選択）した理由を教えてください。※自由回答

- ・ 特になし(他目的の通り道・帰り道であった場合に天気が良ければ)
- ・ 景色を見るため／景観が良いから／景色を見に／景色を見るため／景色を見るため／景観／景色が綺麗だから／景色見るため／景色を見たいため (9人)
- ・ 恋人の聖地であるから
- ・ 夜景を見に／夜景を見たいから／夜景／夜景を見るため／夜景を見に／夜景がきれい／

夜景を見るため (7人)

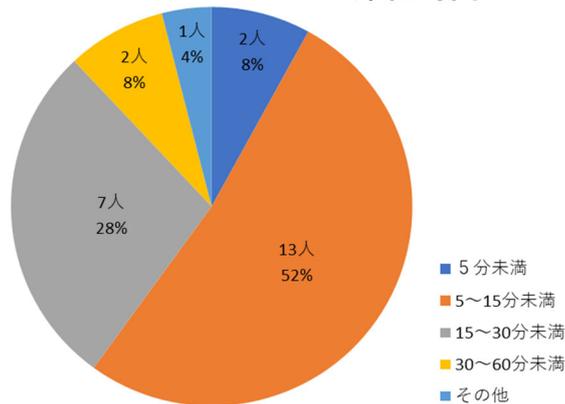
- ・ドライブやツーリングのコースとして／ドライブ／ドライブ／ドライブ (4人)
- ・観光
- ・一度も利用したことがない
- ・夜はあまり行く場所がないのでなんとなく癒されに行っている。

夜景のスポットとして、夜景を見に行くというのが大半ですが、ドライブやツーリングのコース、景色を眺めるため(日中)、という意見も多い。また癒されに行くという意見もあった。

問5. 展望台(公園)での滞在時間を教えてください。※○はいずれか1つだけ

Q5	5分未満	5~15分未満	15~30分未満	30~60分未満	1時間~2時間	その他	計
人数	2人	13人	7人	2人	0人	1人	25人
割合	8.0%	52.0%	28.0%	8.0%	0.0%	4.0%	100.0%

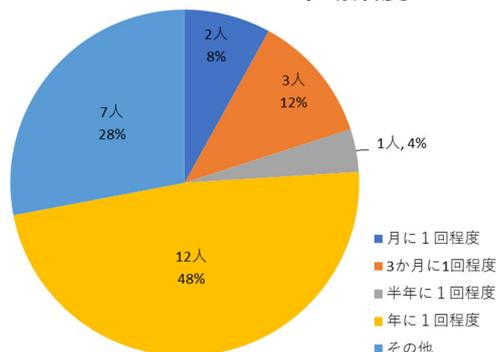
滞在時間



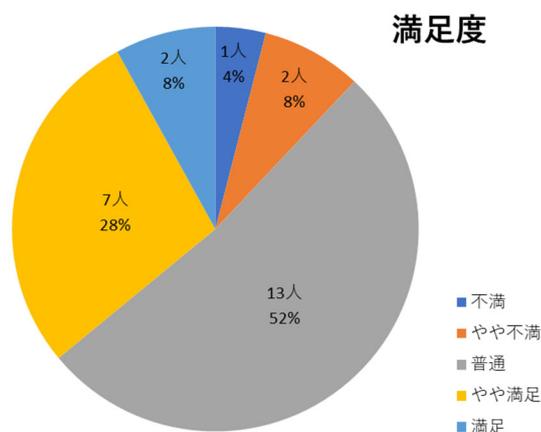
問6. 展望台(公園)への来場頻度を教えてください。※○はいずれか1つだけ

Q6	毎日	週に3回以上	週に1回程度	月に1回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	その他	計
人数	0人	0人	0人	2人	3人	1人	12人	7人	25人
割合	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	12.0%	4.0%	48.0%	28.0%	100.0%

来場頻度



問7. 展望台（公園）の利用上の満足度とその理由を教えてください。※○はいずれか1つだけ



【満足、普通（肯定的な意見）に対する回答】

- ・（普通）そこまでである。
- ・きれいだから。
- ・特になし
- ・もう少し開けているといいかも
- ・天気がいいときれいな景色が見れるから
- ・景色がいいので／景色がいい／景観／景色が綺麗／見晴らしがよい
- ・夜景がきれいだから／夜景が綺麗だから／夜景がきれい／夜景がきれい／綺麗な夜景が見える
- ・利用したことはないが夜間に展望台の光が見えているのを知っており、一度は行きたいと思っているから。
- ・四国中央を象徴する景色を見ることができ、昔よりも整備された印象があるため
- ・夜景はきれいだがその他することがない
- ・見晴らしの良い景観と南京錠の異様な雰囲気
- ・特になし

【不満、やや不満、普通（否定的な意見）に対する回答】

- ・景色以外に特別感があまりないと思うため
- ・景色は綺麗だが、設備が古かったり、あまり清掃されていないように感じたから
- ・夜はバイクに乗っているヤンチャな男性が大勢で来て騒いでいるのが残念です
- ・駐車場が混雑する
- ・自動販売機しかない地味な場所だから

満足度が高い人の意見としては、夜景、景観が綺麗といった意見が多かった。

一方で、満足度が低い方の意見として多かったのが、施設の老朽化や維持管理の状態、整備水準に関する意見があった。また、駐車場の混雑といった意見も見られた。

夜景、景観の良さについては一定の評価があるものの、園内の施設については課題があると捉えられる。

駐車場に関しては、展望台の立地を考えると拡張の可能性が低いため、魅力向上に伴い、来場者数が増えた場合は、入場制限やシャトルバスの運行などの検討が必要。

問8. 展望台（公園）の気に入っているところを教えてください。※自由回答

- ・ 夜景
- ・ 景色が良かった
- ・ 綺麗である
- ・ 景色
- ・ 夜景が綺麗なところ。
- ・ 景色が良い
- ・ 景色がいい
- ・ 四国中央市を代表する夜景スポットである

引き続き、四国中央市の夜景、景観スポットとしての魅力向上が必要。

問9. 展望台（公園）の改善して欲しいところを教えてください。※自由回答

- ・ 結構蜘蛛の巣とかがあったので、定期的な清掃などが必要だと感じた
- ・ もっと綺麗に
- ・ とくになし
- ・ 落書きが気になるので消して欲しいです。
- ・ もう少し開けているといいと思う
- ・ 不満はないが、特質した満足もない。
- ・ 行くまでが大変？
- ・ 柵、屋根のリニューアル。

展望台の既存東屋や防護柵のリニューアルを望む意見や、もう少し開けている方がいい（開放性）との意見がある。

問10. 展望台（公園）に欲しい施設（機能）を教えてください。※自由回答

- ・ 特になし
- ・ 喫煙所
- ・ スマホ置き
- ・ フォトスポット
- ・ 望遠鏡
- ・ お菓子やスイーツの自販機
- ・ 喫茶店
- ・ カフェ
- ・ スペースの都合上難しいとは思いますが、道の駅のような施設が併設されればいいなと思います。

夜景、景色のスポットとして、「スマホスタンド」や「フォトスポット」といった意見あった。また、お菓子やスイーツの自動販売機、喫茶、カフェといった店舗や道の駅のような機能といった意見も見られた。

※店舗や道の駅については、駐車場の拡張性が低いことや、スタッフの常駐、山間部で施設計画が困難な地形といった点において課題がある。

問1 1. 展望台（公園）の管理状況について、気づいた点があれば教えてください。

※自由回答

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ あまり管理されてないのかなと感じた・ ゴミのポイ捨てなど。・ とくになし・ 夏に一度行ったら草が生えすぎて階段降りるのに苦労した。・ 画像が古く、色あせていたような気がします。 |
|--|

施設の維持管理や除草など、日常の維持管理の必要性に関する意見があった。

また、情報サイトの画像が古いなど、PR等のソフト面の改善に関する意見もみられた。

問1 2. その他にご意見がございましたら、下記にご記入ください。※自由回答

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ なし |
|--|

3.2.アンケート結果を踏まえた整備内容の検討

アンケートの結果より、具定展望台の課題と、目指すべき整備内容について検討する。

■アンケート結果を踏まえた検討事項

- ・ 引き続き、夜景、眺望の魅力を向上させるための取組みが必要。
- ・ 既存施設（東屋、防護柵、等）の老朽化より、魅力低下に対する懸念がある。
- ・ ドライブやサイクリングを想定した駐車スペースの確保。
- ・ 物販店舗（カフェや喫茶）や道の駅同等の施設を希望する意見がある。
- ・ 園内の開放性に関する意見があり、駐車場から園内への視野の広さや、展望台付近の開放性（植栽や施設の配置計画）について検討が必要。

現地調査結果からみられる施設の老朽化に合わせてそれぞれがバラバラのコンセプトとなっている施設（東屋、防護柵、看板類）の更新をおこない、自然の景観を活かす施設を推進し、園内の統一感を持たせる。

また、アンケート結果より、「景観・写真撮影スポット」と「展望のための東屋（機能検討中）」の整備と「開放性のある展望台」を再整備の基本的なコンセプトとして整備内容を検討する。

■再整備のコンセプト

- ・ 老朽化した施設の更新
- ・ 場内全体に統一感を持たす。
- ・ 緑豊かな自然の景観を活かす。
- ・ 景観・写真スポットに配慮した施設計画。
- ・ 立地、地形を生かした展望、眺望の計画
- ・ 開放性のあるゾーニング、施設計画。

4.計画内容の検討及び設定

4.1.計画方針の設定

4.1.1.公園の目的・意義

1962年（昭和37年）に整備された具定展望台は、「日本夜景遺産」（2010年）、「日本夜景100選」（2004年）に認定された夜景スポットで、「恋人の聖地」（2012年）に認定されるなど、整備後60年以上経過しているが、県内でも有数の景観、観光のスポットとして注目されている。

具定展望台の地形を活かし、年間を通じて様々な季節の景観を活用した魅力的な場所とすることで、四国中央市の地域資源としての価値を高めていくものとする。

4.1.2.公園の性格

具定展望台は国道319号線の法王トンネル北口から約1km手前の標高350mほどのところに立地し、夜景、眺望を目的とした来場のほか、ドライブやツーリングの休憩として使われる事例もある。

山間部にあることから、変化に富んだ地形と緑豊かな周辺環境から見渡す、宇摩平野に広がるまちなかりと、北部に広がる燧灘の眺望が特徴的である。

周辺に店舗などが無い山間部であることから、場内の滞在時間は5分～30分程度と比較的短く、長時間の利用は殆どない状態である。

4.1.3.公園の担うべき機能

現地調査やアンケート結果から、展望台としては、一通りの機能を有しているが、夜景や景観を活かしたフォトスポットとして、フォトスタンドのようなものの設置が望まれる意見があった。

また、アンケートでは喫茶やカフェ、道の駅のような機能を希望する意見もあった。既存施設においては、駐車場の不足や施設（東屋）の老朽化といった課題がある。

(1) 敷地分析により抽出された課題点の解決方針

3.2の検討事項を基に、既存施設の課題点と快活方針について検討する。

課題点	解決方針
・ 引き続き、夜景、眺望の魅力を向上させるための取り組みが必要。	・ 特に展望台付近の魅力向上のため、古くなった展望台、デッキ等の更新を検討。
・ 既存施設（東屋、防護柵、等）の老朽化より、魅力低下に対する懸念がある。	・ 同上
・ ドライブやサイクリングを想定した駐車スペースの確保。	・ 敷地の有効活用により、追加駐車スペースを確保。あわせて、バイクやサイクリングのための駐輪場の確保も検討。

<ul style="list-style-type: none"> 物販店舗（カフェや喫茶）や道の駅同等の施設を希望する意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 立地やセキュリティを考慮すると、店舗の設置は困難。運営や維持管理事業において検討。季節ごとのマルシェ等の開催などによる魅力発信等。
<ul style="list-style-type: none"> 園内の開放性に関する意見があり、駐車場から園内への視野の広さや、展望台付近の開放性（植栽や施設の配置計画）について検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 展望台付近の雑木・雑草の除伐。 更新する施設（東屋や防護柵）をより開放性や、見通しのよさに配慮した意匠計画の検討。

(2) 施設導入の基本的な考え方

既存の施設や今後、更新や改修が想定される導入施設について、そのあり方や方向性について以下に示す。

導入施設 (更新、改修施設)	あり方、方向性
展望台	<ul style="list-style-type: none"> 展望台の開放性や見通しに配慮した意匠計画。 周辺の自然環境との調和や周囲からの見え方に配慮した色彩や施設計画。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内で可能な限り、追加で駐車場（区画線）を整備。 計画地が国道の曲折した場所となるので、通行車両の見通し等、安全面に配慮した配置。
案内板、看板	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設に統一感が無いため、案内板、看板、サイン類のデザイン統一。
展望デッキ等	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の回遊性や滞留を想定した動線計画。 展望台からの眺望や見通しに配慮した意匠計画。 周辺環境との調査に配慮した、素材、色彩計画。
防護柵、等	<ul style="list-style-type: none"> 安全性に配慮した適所への配置と耐久性。 周辺の自然環境との調和や周囲からの見え方に配慮した色彩や施設計画。
植栽等	<ul style="list-style-type: none"> 景観、眺望への支障となる雑木、雑草の除伐や維持管理。 園内の見通しに配慮した植栽計画。 周辺の自然環境との調和に配慮した植栽計画。
照明設備	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の安全な利用に配慮した場内照明（適切な照度確保） 周辺からの見え方に配慮した照明計画。（直射光の抑制）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 夜景、眺望のスポットとしての魅力向上につながる附帯施設。（フォトスタンド、ベンチ、等）

(3) 管理運営の基本的な考え方

具定展望台は全国的な夜景、景観のスポットとして、注目を浴びている一方で、山間部に位置することから、移動手段がほぼ自家用車に限られることや、駐車場の拡張については限界があることから、来場者数や滞在時間の極端な増加が難しい。

そのため、常駐での管理やアンケートにあったような喫茶、カフェといった収益性のある施設運営は困難な状況である。

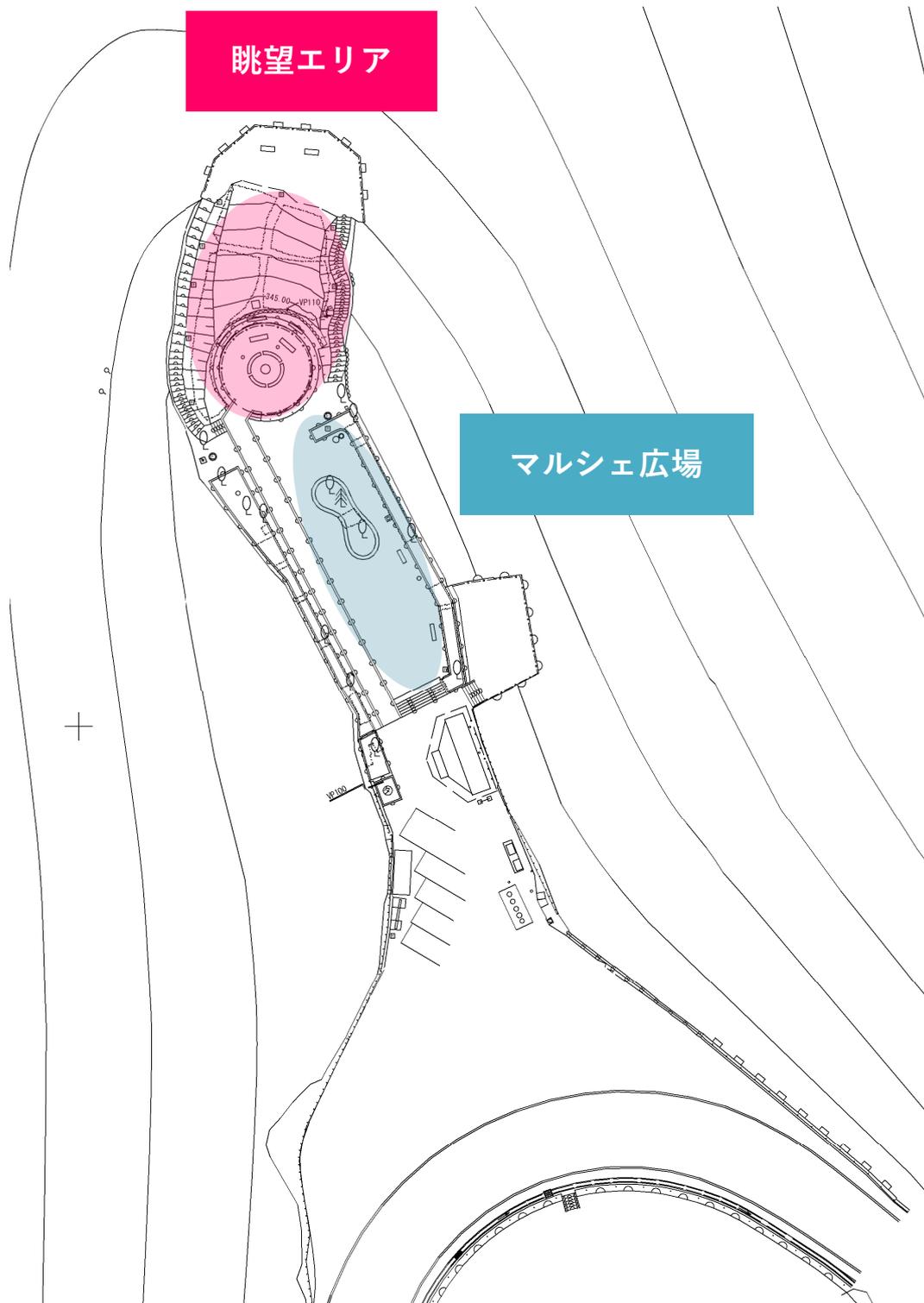
アンケート結果にみられた、雑草や支障木に対する維持管理不測の指摘も見られたが、夜景、景観スポットとして、日常的な維持管理において、場内のイメージにつながる清掃や除草に重点を置き、魅力発信となるような仕組みについては、実証実験として地元住民の参加による季節ごとのイベントやマルシェ等を検討し、段階的に魅力発信と来場者の増加を検討する必要がある。

4.2.ゾーニング

(1) 導入機能の整理

アンケート結果では、引き続き具定展望台からの夜景、眺望の魅力を向上させるための整備や、既存施設の老朽化への対策が求められていることと、物販店舗（カフェや喫茶）や道の駅同等の施設を希望する意見が見受けられた。

そのため、計画地内を眺望エリアと物販などを想定したマルシェ等に利用できる広場（マルシェ広場）とを大きく二つのゾーンと捉えて検討する。



眺望を活かした計画とする他、具定展望台は全国的な夜景、景観のスポットとして、注目を浴びている一方で、山間部に位置することから、移動手段がほぼ自家用車に限られることや、駐車場の拡張については限界があることから、来場者数や滞在時間の極端な増加が難しい。

そのため、常駐での管理やアンケートにあったような喫茶、カフェといった収益性のある施設運営は困難な状況である。

アンケート結果にみられた、雑草や支障木に対する維持管理不測の指摘も見られたが、夜景、景観スポットとして、日常的な維持管理において、場内のイメージにつながる清掃や除草に重点を置き、魅力発信となるような仕組みについては、実証実験として地元住民の参加による季節ごとのイベントやマルシェ等を検討し、段階的に魅力発信と来場者の増加を検討する必要がある。

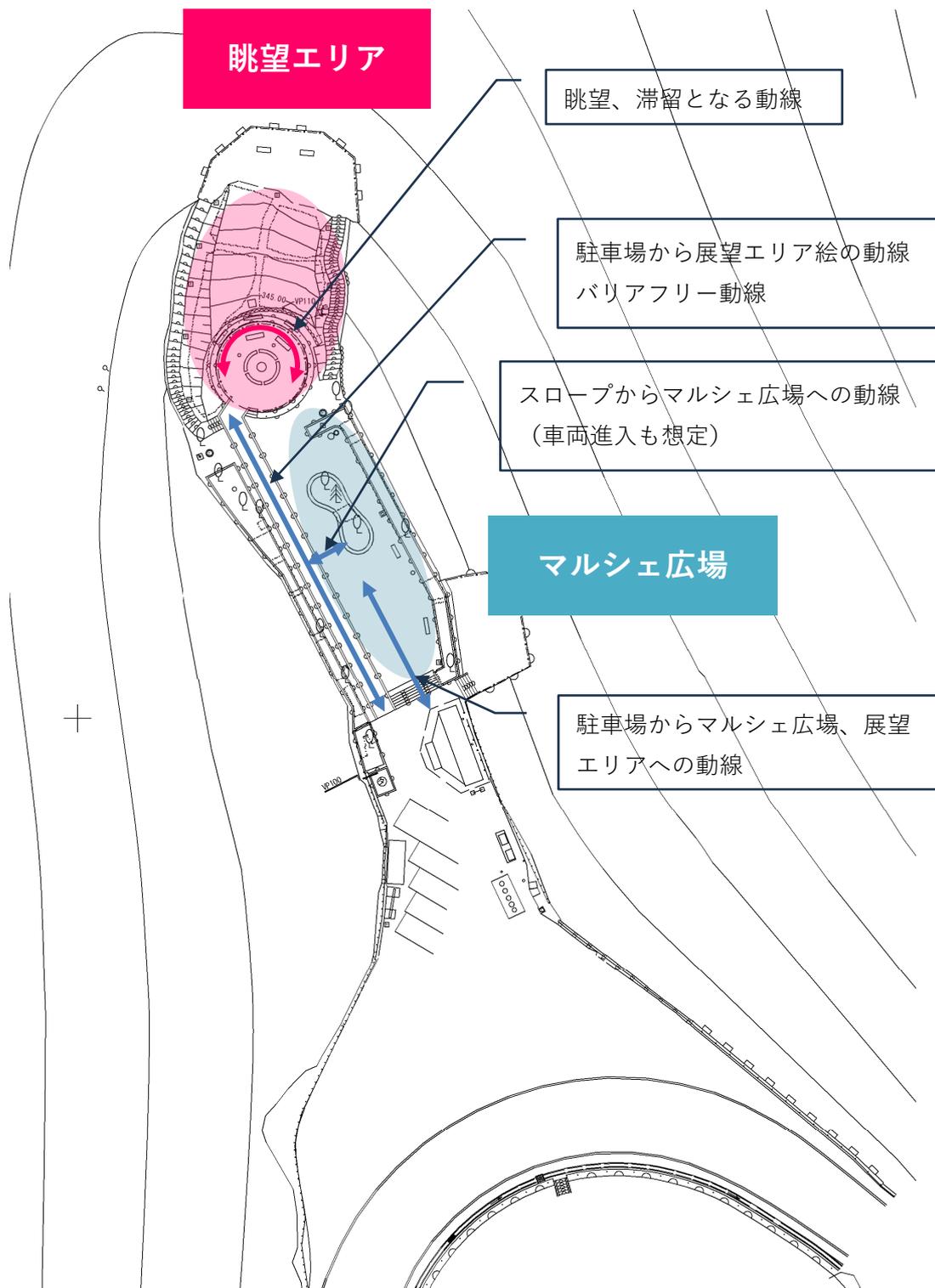
- ・ 引き続き、夜景、眺望の魅力を向上させるための取組みが必要。
- ・ 既存施設（東屋、防護柵、等）の老朽化より、魅力低下に対する懸念がある。
- ・ ドライブやサイクリングを想定した駐車スペースの確保。
- ・ 物販店舗（カフェや喫茶）や道の駅同等の施設を希望する意見がある。
- ・ 園内の開放性に関する意見があり、駐車場から園内への視野の広さや、展望台付近の開放性（植栽や施設の配置計画）について検討が必要。

(2) 各ゾーンが受け持つ機能、性格、位置、面積、形状の設定

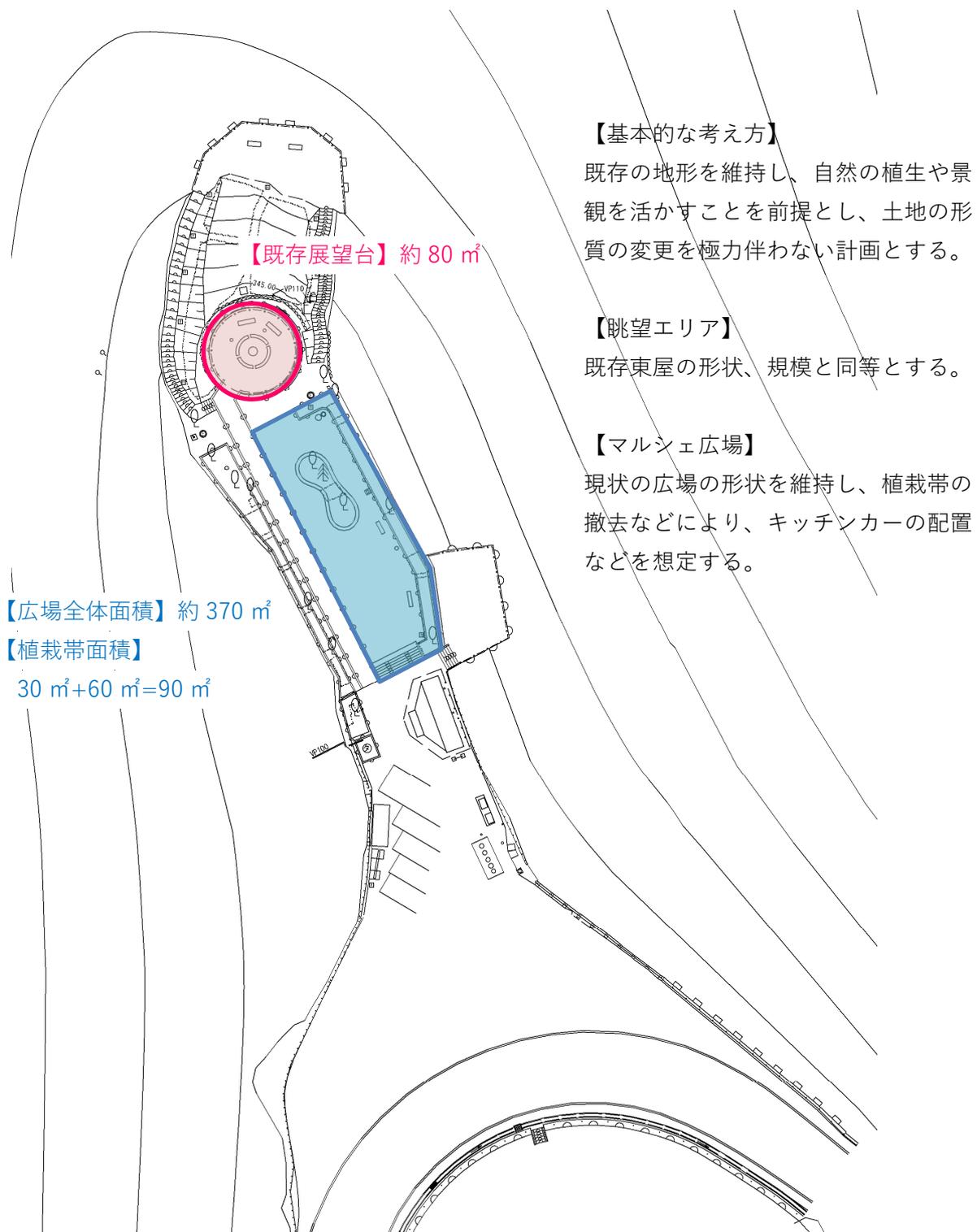
設定したゾーンごとの機能については以下の通りとする。

ゾーン	機能
眺望エリア	敷地北側の既存の展望台（東屋）があるところとし、夜景、眺望を満喫できるエリアとして、地形を活かした計画とする。 現況の自然環境や植生を維持し、地形を活かした計画とするため、土地の大きな形質の変更は行わないものとする。
マルシェ広場	道路と展望台の中間に位置する広場とする。眺望エリアと同様に、現況の自然環境や植生、地形に配慮し土地の大きな形質の変更は伴わない計画とする。

(3) 入口及び動線の性格・位置



(4) 規模の設定

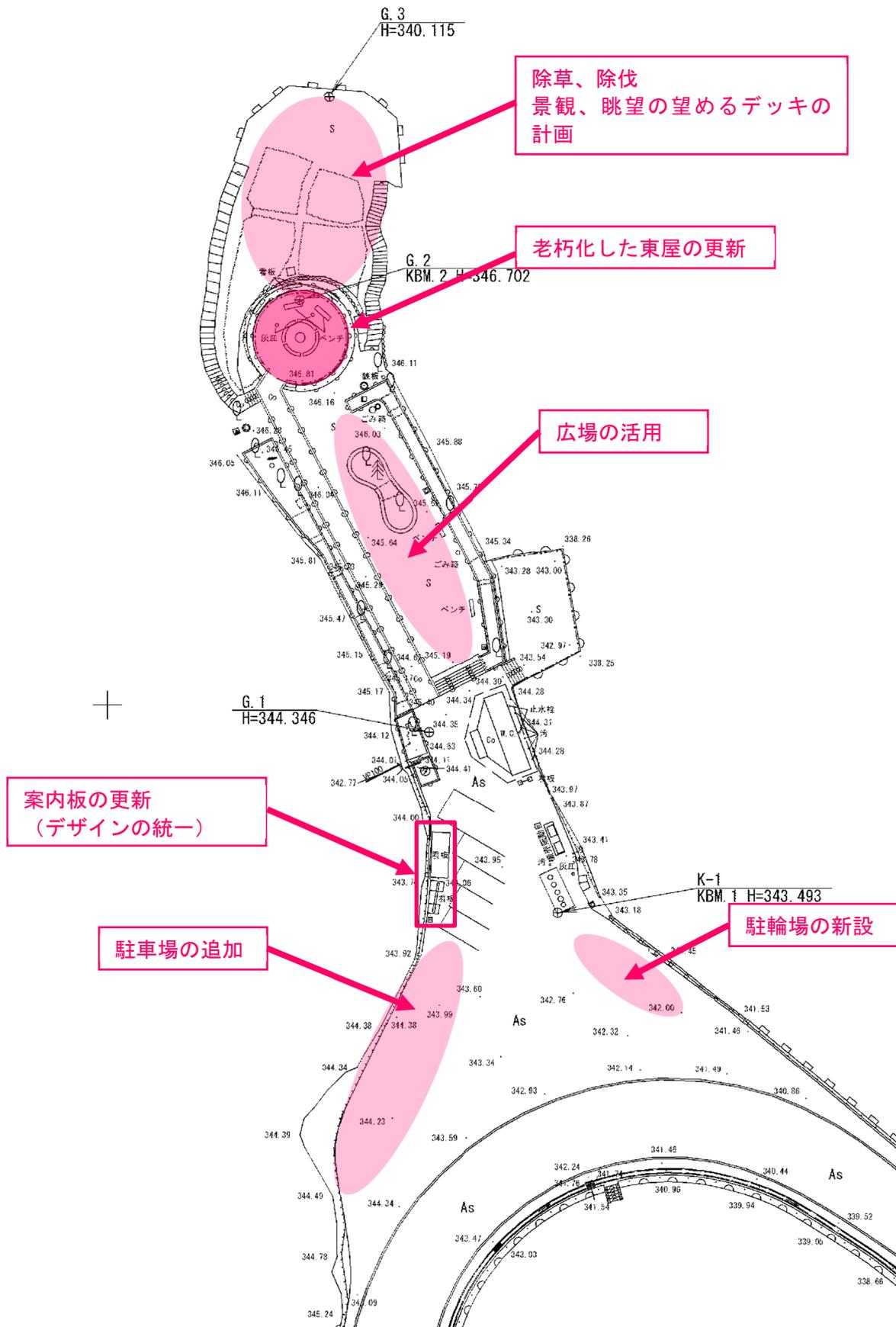


4.3.施設配置計画検討

(1) 既存施設の配置計画と課題点



(2) 課題点に対する対応策

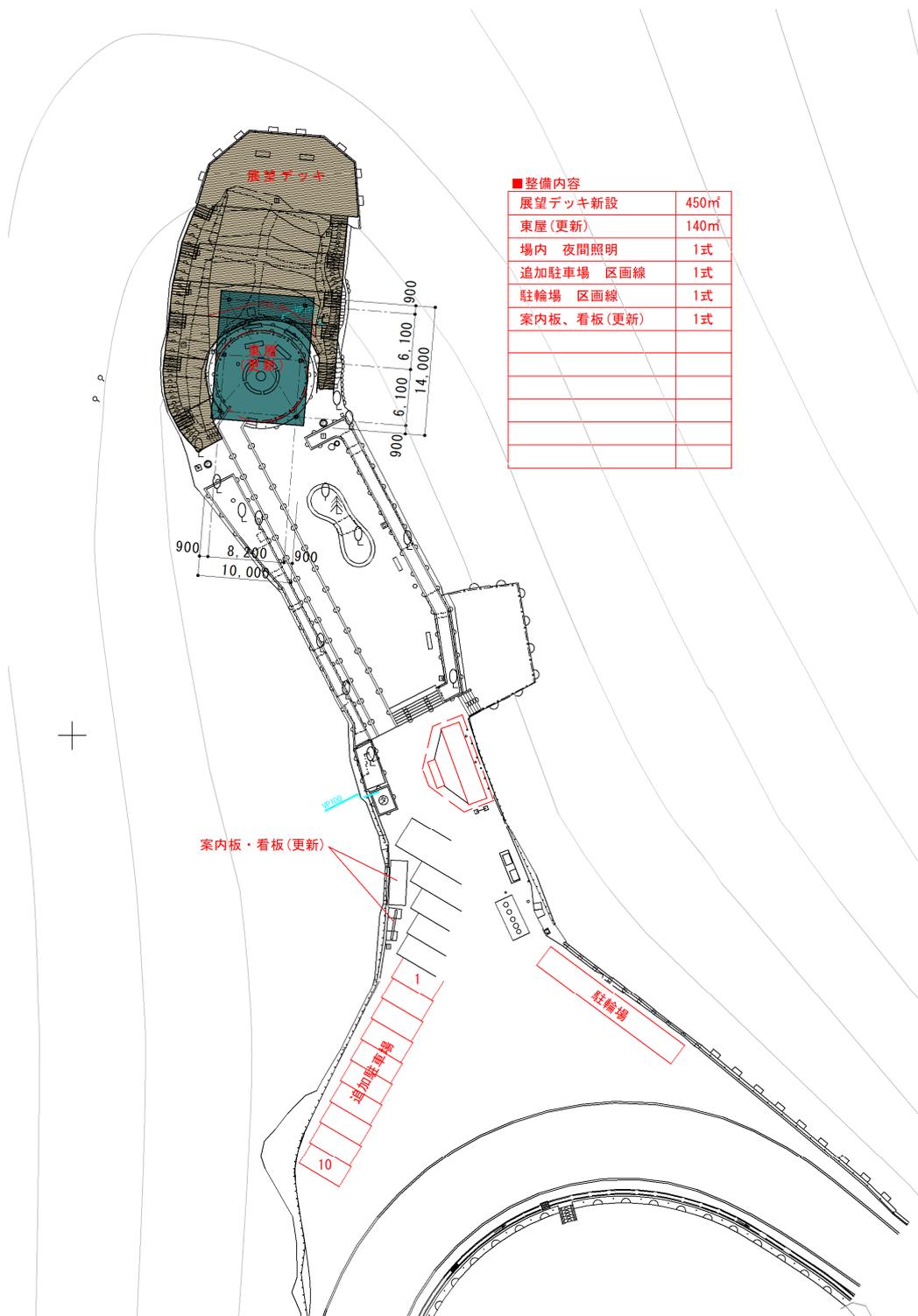


5.整備基本計画図

5.1.整備計画（案1）

【整備方針】

- ・ 老朽化した東屋及び、防護柵等の更新を行う。
- ・ 合せて、斜面側への階段の再整備、斜面の地形を活用したデッキ広場を整備する。
その他、場内照明や看板類の整備を行う。

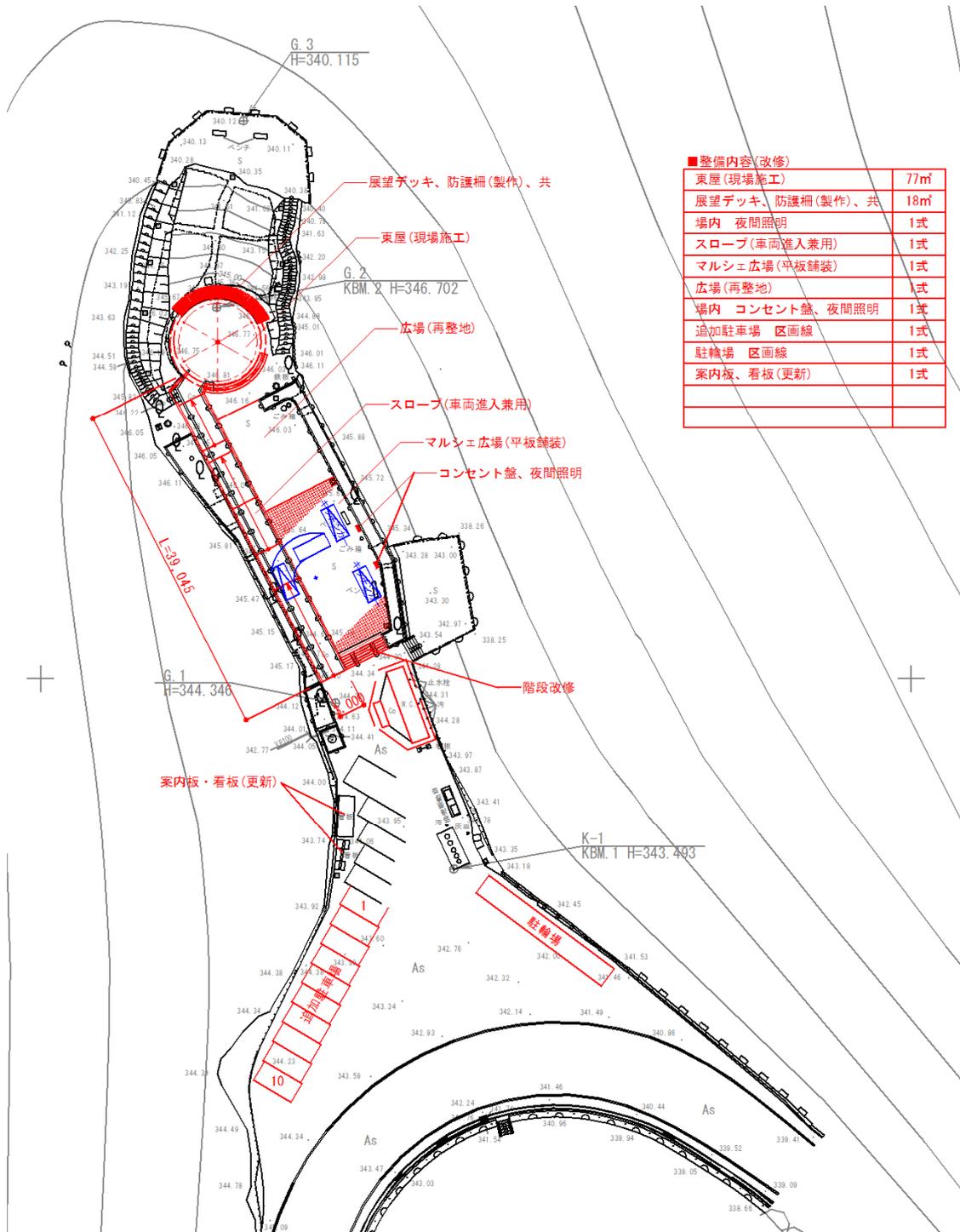


5.2.整備計画（案2）

【整備方針】

- ・ 老朽化した東屋及び、防護柵等の更新を行う。（大きな形質の変更は行わない）
- ・ スロープ部を全面改修し、車両の乗入れが可能にする。

既存植栽帯の撤去、広場を整備し、キッチンカーの配置やマルシェの開催が可能な広場を整備する。

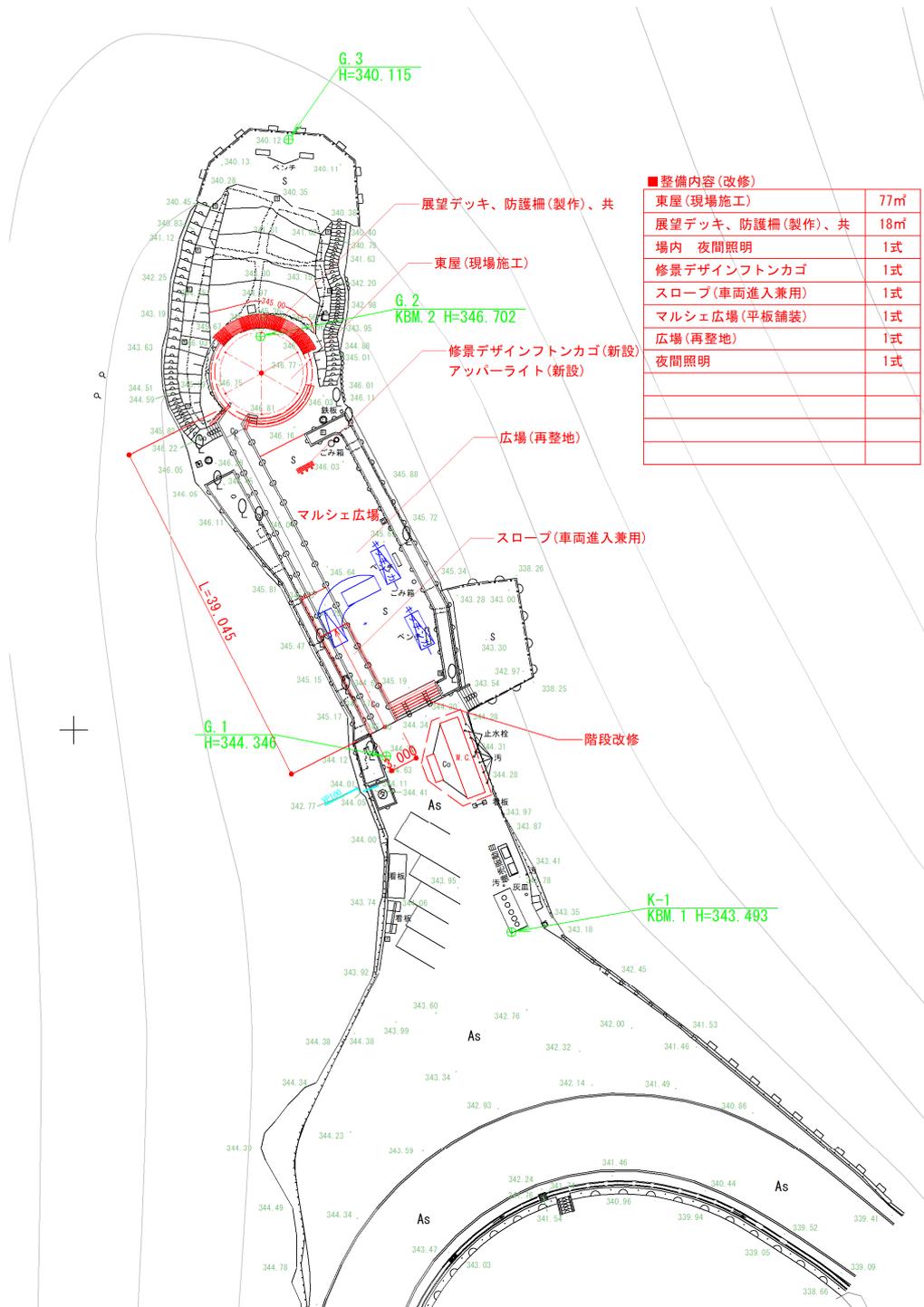


5.3.整備計画（案3）

【整備方針】

- ・ 老朽化した東屋及び、防護柵等の更新を行う。（大きな形質の変更は行わない）
- ・ スロープ部を部分改修し、車両の乗入れが可能にする。

既存植栽帯の撤去、広場を整備し、キッチンカーの配置やマルシェの開催が可能な広場を整備する。広場整備にあたってはコストに配慮し最小限の整備とする。



6.概算工事費の算出

整備計画（案1）

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
【撤去工事】						
既存展望台（東屋）撤去	運搬、処分共	1	式	2,000,000	2,000,000	
既存撤去 小計					2,000,000	①
【改修工事】						
仮設費	仮設、機器運搬	1	式	500,000	500,000	
環境対策工	アスベスト対策K	1	式	2,000,000	2,000,000	
既存工作物撤去	既存樹撤去を含む	1	式	500,000	500,000	
展望デッキ新設	基礎、下地材共	450	m ²	80,000	36,000,000	
東屋（新設）	基礎を含む	1	式	2,000,000	2,000,000	
場内 夜間照明	既存版改修を含む	1	式	3,000,000	3,000,000	
追加駐車場	区画線	1	式	300,000	300,000	
駐輪場	区画線	1	式	200,000	200,000	
案内板、看板(新設)	運搬、処分共	1	式	300,000	300,000	
改修工事 小計					44,800,000	②
直接工事費 計	①+②				46,800,000	③
諸経費	(建築工事経費) ③×0.35				16,380,000	④
合計	③+④				63,180,000	
消費税					6,318,000	
総合計					69,498,000	

整備計画（案2）

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
【撤去工事】						
既存スロープ・階段撤去	運搬、処分共	1	式	1,125,000	1,125,000	
既存植栽帯撤去	運搬、処分共	1	式	70,000	70,000	
既存樹撤去	運搬、処分共	1	式	50,000	50,000	
既存展望台（東屋）撤去	運搬、処分共	1	式	2,000,000	2,000,000	
環境対策工	アスベスト対策K	1	式	2,000,000	2,000,000	
既存工作物撤去	既存樹撤去を含む	1	式	500,000	500,000	
既存撤去費 小計					5,745,000	①
【改修工事】						
東屋（新設）	基礎を含む	1	式	10,000,000	10,000,000	
展望デッキ（新設）		1	式	800,000	800,000	
スロープ新設		40	m	100,000	4,000,000	
階段新設		1	式	500,000	500,000	
平板舗装		160	m ²	15,000	2,400,000	
広場整地		100	m ²	1,000	100,000	
コンセント盤		1	式	600,000	600,000	
場内 夜間照明	既存版改修を含む	1	式	3,000,000	3,000,000	
追加駐車場	区画線	1	式	300,000	300,000	
駐輪場	区画線	1	式	200,000	200,000	
案内板、看板(新設)		1	式	300,000	300,000	
改修工事 小計					22,200,000	②
直接工事費 計	①+②				27,945,000	③
諸経費	(建築工事経費) ③×0.35				9,780,750	④
合計	③+④				37,725,750	
消費税					3,772,575	
総合計					41,498,325	

整備計画（案3）

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
【撤去工事】						
既存スロープ・階段撤去	運搬、処分共	1	式	500,000	500,000	
既存植栽帯撤去	運搬、処分共	1	式	70,000	70,000	
既存樹撤去	運搬、処分共	1	式	50,000	50,000	
既存展望台（東屋）撤去	運搬、処分共	1	式	2,000,000	2,000,000	
環境対策工	アスベスト対策K	1	式	2,000,000	2,000,000	
既存工作物撤去	既存樹撤去を含む	1	式	500,000	500,000	
既存撤去費 小計					5,120,000	①
【改修工事】						
東屋（新設）	基礎を含む	1	式	10,000,000	10,000,000	
展望デッキ（新設）		1	式	800,000	800,000	
スロープ新設		16.7	m	100,000	1,670,000	
階段新設		1	式	500,000	500,000	
修景用フトンカゴ		1	式	500,000	500,000	
広場整地		100	m ²	1,000	100,000	
外灯更新		3	基	500,000	1,500,000	
フトンカゴ用照明	アッパーライト	3	基	100,000	300,000	
東屋照明		1	式	600,000	600,000	
配線配管工事		1	式	300,000	300,000	
既設引込盤改修		1	式	200,000	200,000	
改修工事 小計					16,470,000	②
直接工事費 計	①+②				21,590,000	③
諸経費	（建築工事経費）③×0.35				7,556,500	④
合計	③+④				29,146,500	
消費税					2,914,650	
総合計					32,061,150	

7.基本計画説明書

計画地は山間部に位置し、敷地や駐車場の拡張性が無いため、集客や事業性に課題があるため、整備費を抑えた（案3）を基に計画を進めるものとする。

7.1.整備計画

- ・老朽化した既存東屋の撤去、更新
- ・既存屋外ポール照明の更新
- ・キッチンカーの進入を想定した広場進入路を整備

7.2.工事内容

- ・既存東屋撤去に伴い、工事用進入路が必要となるため、既存スロープ一部撤去。
- ・あわせて、階段を撤去。
- ・東屋、外灯の新設を行い、撤去したスロープの復旧。（キッチンカーが進入できるもの）
- ・修景用フトンカゴの設置や、アップライト、東屋のダウンライトを計画し、展望台廻りの魅力を向上させる。

7.3.整備計画案

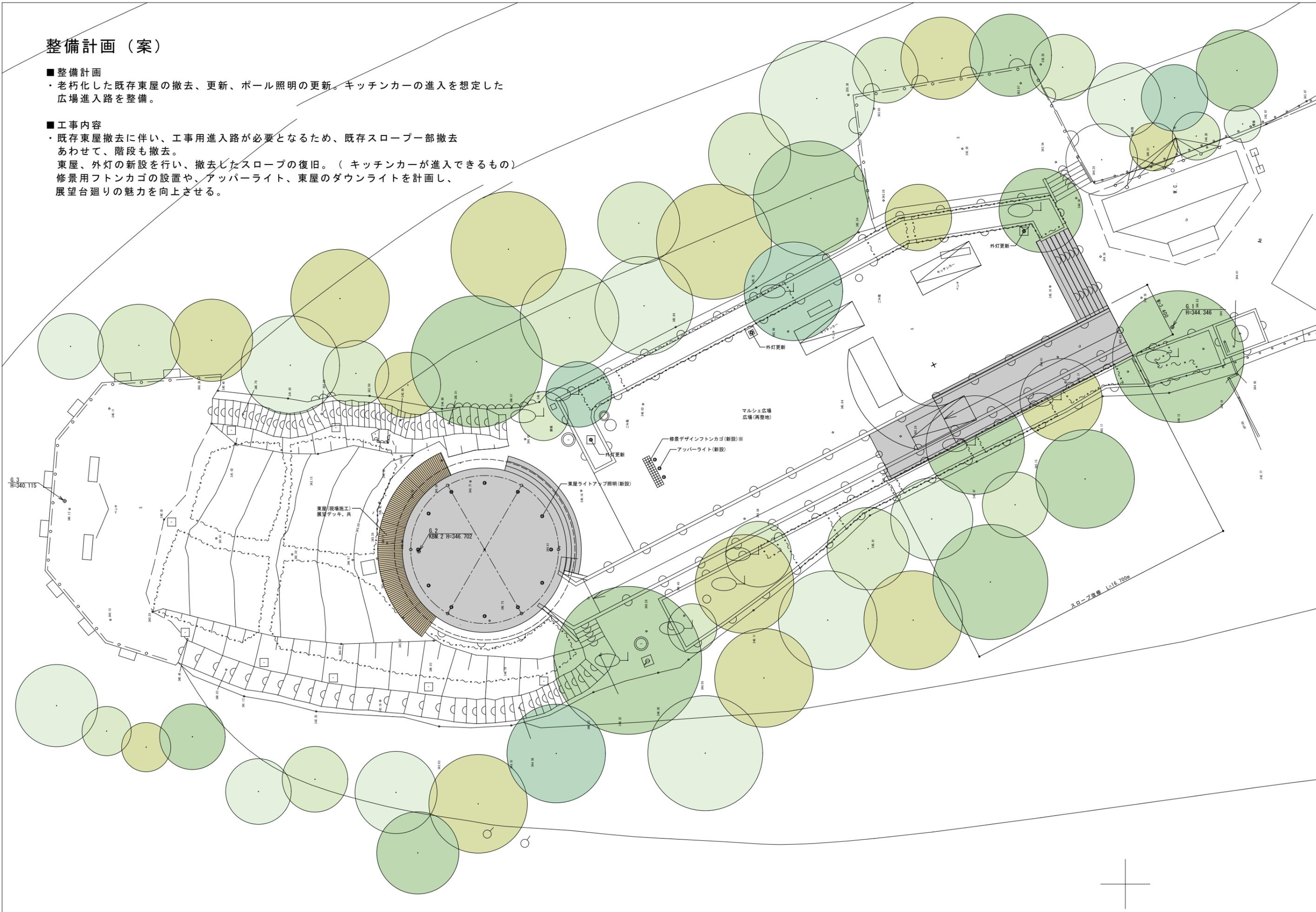
整備計画（案）

■ 整備計画

- ・ 老朽化した既存東屋の撤去、更新、ポール照明の更新。キッチンカーの進入を想定した広場進入路を整備。

■ 工事内容

- ・ 既存東屋撤去に伴い、工事用進入路が必要となるため、既存スロープ部撤去あわせて、階段も撤去。
- ・ 東屋、外灯の新設を行い、撤去したスロープの復旧。（キッチンカーが進入できるもの）
- ・ 修景用フトンカゴの設置や、アップライト、東屋のダウンライトを計画し、展望台廻りの魅力を向上させる。



横断面図 S=1:100
(1)

